

は じ め に

福岡市衛生試験所は、昭和45年10月に発足以来、今年で23年が経過いたしました。この間、当所は本市の保健衛生・環境保全行政を科学的、技術的に支えていく、試験研究機関として重要な役割を果たしてまいりました。

しかし、近年の保健・環境問題等新たな社会的要請に応えるため、当所は、平成9年度に「福岡市保健環境研究所（仮称）」として拡充整備していくことになり、現在、整備計画が着々と進行している段階です。

平成5年3月、新研究所新築工事の実施設計が完成し、6月、待望の建設工事に着工しました。

仮庁舎における整備として、本年9月には高精度質量分析計等の分析機器類を導入し活用しています。

さて当所が平成4年度に取り組んだ主な業務を振り返って見ますと、次のとおりです。

保健衛生分野では、第1には、平成4年度より福岡県感染症サーベイランス事業の本市におけるウイルス検査を開始したこと、第2には、著しい増加を示しているHIV抗体検査への対応、第3には、急増しているサルモネラ食中毒への汚染防止対策、第4には、ポストハーベスト農薬を含む農薬検査体制の整備等、様々な課題に取り組んでいます。

環境分野では、第1には、酸性雨共同調査等の地球環境問題への参加、第2には、市内河川・博多湾・地下水等の水質調査、およびゴルフ場農薬調査、第3には、市内河川・博多湾の生物調査等、広く環境対策に取り組んでおります。

さらに、調査研究業務については、本年度に初めて調査研究費が予算化され、各所員は調査研究に新たな情熱を燃やしています。

私たち所員一同は、保健衛生・環境保全に対する様々な市民ニーズに応えるため、なお一層努力いたす所存であります。

ここに、平成4年度の業務概要と調査研究の成果を取りまとめ、所報第18号としてお届けいたします。

ご高覧いただき、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成5年12月

福岡市衛生試験所長

佐藤 泰敏